



今年度、周南市教育委員会から各中学校区に地域学校協働活動推進員を委嘱したことは、大きな成果である。このことが、地域、保護者の子どもたちに関わる当事者意識の醸成にもつながっている。今後は、子どもたちから発信するコミュニティ・スクールの活動を仕組むなど、子どもたちへのコミュニティ・スクールとしての意識化を図っていくことがさらなる充実につながると考えられる。

周南市の推進構想



4つの柱と1つの効果を求める平成27年度作成周南市地域とともにある学校づくり方針。

学校運営協議会の充実

- 【成果】
- 学校課題の解決に向けたプロジェクト部会の活性化…協議内容の充実。
 - 学校評価書を活用したPDCAによる学校運営…運営の振り返りの共有化。
- 【方向】
- 児童生徒にとってのコミュニティ・スクールは、いかにあるべきか、またどのような力を育てるか、という課題に対応する。

方向についての課題①

学校運営協議会による、子どもの意見を生かした活動の計画・実施。

課題①に関して今後進めたい取組

- ・児童生徒を交えた熟議等の開催。
- ・児童会や生徒会と連携した活動の立案・運営。
- ・児童生徒の活動案を学校運営協議会に提案。
- ・市内小中学校による好事例の共有。

方向についての課題②

自校がコミュニティ・スクールであることを児童生徒が認知すること。

課題②に関して今後進めたい取組

- ・学校内で地域の大人が活動する場面のさらなる創出。
- ・児童会や生徒会による啓発キャンペーン等の実施。
- ・学校だよりやコミスクだより等での周知。

合同学校運営協議会の定着と小中連携教育の深化

- 【成果】
- 中学校区の教育課題を地域全体で共有し、共通目標やめざす児童生徒像の設定。
 - 中学校区小中学校の連携による学校・地域連携カリキュラムの作成と改訂。
- 【方向】
- 地域学校協働活動推進員を柱とした教育ネットワークの充実は、学校と地域の協働を一層充実させ、学校間の連携を深めるものとして対応する。

方向についての課題

関係するそれぞれの立場の人の当事者意識と実践力の向上。

課題に関して今後進めたい取組

- ・地域学校協働活動推進員(統括コーディネーター)と地域連携担当教職員との連携の充実。
- ・地域学校協働活動推進員が結ぶ地域の実践者のネットワークづくり。

地域の関わりで生まれる教育力

- 【地域とともにある学校づくり構想で生まれた効果】
- 地域の人々の学校支援や学校行事の参加が増え、世代を超えた子育てを通じた交流機会を生み出してきている。
 - 児童生徒が地域の行事にボランティアとして自主的に参加し、地域の担い手意識を高め、地域の活気を生み出してきている。
- 【今後求められる効果】
- 地域の将来について考えたり、発表したりする機会によって、地域への関心を高めていく児童生徒が育つ。



福川中学校区

子どもたちとともに考える地域防災



小・中学生、地域の方々が合同で、防災キャンプなど防災に関する様々な体験・訓練を実施している。この活動を通じて、地域ぐるみの学校支援の充実に取り組んでいる。

秋月中学校区

子どもたちの思いを実現する地域の力



体育祭の横断幕の縫製を例年、業者に依頼していたが、さらに大きなものを作成したいという生徒の強い要望があり、地域の方々の支援で大きな横断幕を縫製することになった。

鹿野中学校区

子どもたちが考える地域の未来像



“ふるさとを愛する心を育み、ここで安心して暮らしていくには”をテーマとして、小学校6年生と中学校全生徒が地域の方々と一緒に未来のまちについて熟議を行った。

地域協育ネット合同研修会

絆を深めるコーディネーター研修会



周南地区3市(周南・下松・光)は、県内でもいち早く地域学校協働活動推進員を委嘱している。本年度は各校コーディネーターや市民センター職員等を加えた合同研修会を行い、各市の情報交換をした。

徳山小学校

児童の学びを支援するネットワーク作り



児童の「ことばの力」を高める共通の目標のために、学校・保護者・地域・行政等が、校区の地域連携教育推進協議会を設け、課題解決に向けた連携・協働を行った。

住吉中学校区

学校運営協議会とつながる今宿夢プラン実行委員会の連携



学校運営協議会の支援のもと、今宿小学校児童と住吉中学校生徒が今宿地区のまちづくりについて考えた。さらに、「つながる今宿夢プラン実行委員会」と意見交換を行った。

太華中学校

学校の和室を活用した地域の拠点づくり



学校の和室を活用した地域連携活動の拠点づくりを進めている。学校運営協議会が立案・運営しており、プロが講師となる出張囲碁教室や抹茶教室等を、生徒を対象として開催した。

和田中学校

地域の人々と学ぶ和田学のすすめ



地域の伝統文化『三作神楽』の伝承、伝統産業の活性化案作成を通して、9年間をつなぐ学校地域連携カリキュラムを実践している。本年度は全国中学校総合文化祭へ参加した。